

## 第17回 未来医療への希望

人の心は病気を簡単に作ることが出来ることをご存知だろうか。心が晴れない日々が続いている最中に、急に体調が悪くなったような時、余裕があれば“自分の潜在意識が何を欲しているのか？”を考えてみて欲しい。

深く考えれば、意外な事実気付くはずだ。感染症など、明らかな原因のある場合は別として、元々特別な身体の懸念がない場合、自分の深層心理が“病気になることを欲している”ことが、突然の体調不良の原因であるかも知れない。「病気」になると、会社や学校に行かない理由が見つかる。「病気」があると、人に注目してもらえる。「病気」があ

ると、自分の思い通りの人生が展開していない理由が見つかる。

病気はある意味、「自己を正当化するために必要なこと」として“使われている”場合があるのだ。病気はプライドを保つ防波堤でもある。人の心と身体は実に一体で、“色心不二”とはよく言ったものだ。生活習慣に問題があって生じる病気であっても、元をたどれば、過食や喫煙をやめられない心にその原因があるのかも知れない。癌ですら、人を責める気持ちや、自己処罰するような心が持続することでも発生すると言われている。

心の在り方が生み出した病気であるならば、逆に、心の在り方を変えることで治せる病気も多いのではないか？そのことを、先入観を持たずに追及するところに、未来医療への希望があると僕は考える。

### 医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。  
米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学、最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区片平5-24-15 きむら内科クリニック 麻生区 [検索](#)